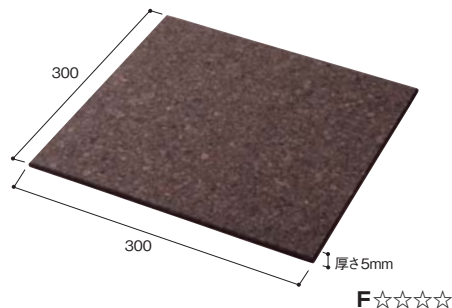
脱衣室へ。

靴下を脱いだときでも、冷たくありません。

■浴室フロア用コルクタイルと同じ素材を、脱衣室にお使いいただきやすいように、大判・薄手にしました。
■磁器タイルと同等の防水性があります。
※天然コルク特有のニオイがします。浴室コルクに比べて時間はかかりますがニオイはなくなります。

脱衣室用

F☆☆☆☆

東亜コルク
脱衣室用コルクタイル
4370-2503 BA-305
1枚 1,200円（税抜き）
●材質：天然コルク●サイズ：長さ300×幅300×厚さ5mm
※1m²当たり約11枚

副資材

（ポリ缶）

ノントルエンタイプ F☆☆☆☆
●有機溶剤系接着剤

東亜コルク
トッパーコルクボンドS
4370-2105
1缶(3kg入) 5,400円（税抜き）
●合成ゴム速乾型（両面塗布）
●下地：木、コンクリート
●塗布量：3kgで約8m²

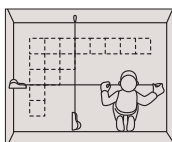
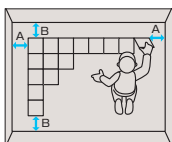
環境対応型 F☆☆☆☆
●水性型接着剤

東亜コルク
接着剤
4370-2223 TCE-33VS
1缶(3kg入) 12,200円（税抜き）
●合成ゴム系水性型（ノンホルム、無溶剤型、両面塗布）●下地：木、コンクリート●塗布量：3kgで約12～15m²●付属品：塗布用ローラー

⚠ 施工上のご注意
●既存の床がクッションフロアなど樹脂製の床材の場合、その上にコルクタイルを貼ると、接着剤が樹脂を溶かしてコルクタイルがハガれる恐れがあります。床材をハガすかその上に合板を貼ってから、施工してください。
●トッパーコルクボンドSは施工時に揮発剤のきつい臭いがします。
施工前に必ず施主様にご説明ください。またご使用の際は、空気環境にご注意ください。
●TCE-33VSは水性型のため、乾燥時間が長くなります。扇風機などをご使用してください。

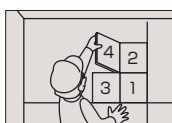
こちらの商品もご一緒に
BAUHAUS
32ステンアクアレール
オフセットブラケット
→ P.200

施工方法 脱衣室用コルクタイルの施工

1 割り付け・スミ打ち

部屋の隅で極端にコルクタイルが小さくならないようバランスをとり、墨つぼ等で基準線を描きます。

2 接着剤の塗布

トッパーコルクボンドS
ブラシ・櫛目ゴテなどでコルクタイル裏面および下地表面に接着剤を均一に塗布して10～60分程度置き、押しても接着剤が殆ど着かなくなるまで乾燥させます。(詳しくは接着剤の取扱説明書に従ってください)

3 敷き込み

コルクタイルは先に引いた基準線が交差する所から貼り始めます。その際、片寄って力を加えると目地に狂いが生じますので均一に力を加え、すき間が生じないように注意してください。

床暖房装置施工の場合
目地部の突き付けの際、若干強めに突き付けてください。

重要

コルクタイルの接着は1枚づつていねいにローラーで圧着してください。仕上げには、目地の上から全体をハンドローラーで押さえます。

4 コルクタイルの圧着

重要
全て貼り終わった時点で、接着不良個所をなくすため目地部分を中心にハンドローラー等で圧着させます。
又、全体をポンドローラー等で圧着してください。

床暖房装置施工の場合
敷込時、及び施工後にしっかりと圧着してください。これをおこたると目地すきなどの原因になります。

⚠ 施工上のご注意
既存の床がクッションフロアなど樹脂製の床材の場合、その上にコルクタイルを貼ると接着剤が樹脂を溶かしてコルクタイルがはがれる恐れがあります。床材をはがすか、その上に合板を貼ってから施工してください。